

令和3年 第7回 武豊町教育委員会 会議録

開催日 令和3年7月15日(木)

場 所 武豊町役場 全員協議会室

出席委員の氏名

教 育 長	加藤 雅也			
教育長職務代理者	久田 徳彦	委 員		小藤 省吾
委 員	永田 淑子	委 員		出口 智康

出席職員の氏名

教 育 部 長	糸山 英巳	学 校 教 育 課 長	森田 良孝
生涯教育課長	伊藤誠一郎	ス ポ ー ツ 課 長	田中 孝往
町民会館事務長	藤井 信介	歴史民俗資料館長	神谷 芳美
中央公民館長	石田 修	生涯学習課課長補佐	西川 正洋
町民会館事務長補佐	栗田 宗広	スポーツ課課長補佐	横田 覚
給食センター所長	青木 隆	学校教育課課長補佐	藤井 千絵
学校教育指導主事	岩田 圭司	学校教育指導主事	稲垣 勉

：欠席者

1. 開会 午後1時30分

2. 開会宣言並びに第7回定例会 会議録の承認

(教育長) 出席委員4名を確認し、会議の成立及び第7回定例会の開会を宣言する。

(教育部長) 次に前回の会議録のご承認をお願いします。会議録につきましては事前にお渡ししておりますので、すでにご確認いただいていると思います。この会議録について、ご意見、ご質問等があれば、お願いします。

《意見なし》

(教育部長) 特にご意見等もないようですので、前回の会議録は承認とします。会議録への署名と押印は、この会議が終わりましたら、担当がお願いに行きますので、よろしくお願いします。

(教育部長) それでは教育長報告に移ります。教育長、お願いします。

3. 教育長報告

- 6/10 定例教育委員会 特別予算ヒアリング
- 6/14 文教厚生委員会
- 6/15 学校環境研究会 社会教育審議会(書面会議)
- 6/16 武豊ライオンズクラブ寄附(SDGs関連)
- 6/21 表敬訪問 卓球全国大会出場(武豊小)
- 6/22 学校訪問(富貴小) 久田委員・小藤委員と
- 6/23 定例校長会議
- 7/ 2 学校運営研究会 図書館協議会
- 7/ 6 教育課程研究会
- 7/ 9 県市町村教育委員会連合総会(東海市)(書面会議)
- 7/12 知教協幹事会 教科書採択委員会
- 7/14 5町教育長会(美浜町)
- 7/15 定例教育委員会

(教育部長) ありがとうございました。それでは、議事に移ります。教育長、よろしくお願ひします。

5. 議 事

(教育長) 議案第19号 教育委員会委員の異動について 事務局、お願ひします。

議案第19号 教育委員会委員の異動について

(指導主事) 資料1の説明

現在、久田徳彦委員がお務めの教育長職務代理者の任が令和3年9月30日で満了となります。新たに小藤省吾委員を令和3年10月1日から令和4年9月30日までの期間、職務代理者としてお願ひしたいです。

(教育長) ご質問もないようですので、ご承認いただけますでしょうか。

(全員挙手により可決)

6. 報告事項

(教育部長) 続いて、報告事項に移ります。

(1) 第26回武豊町絵画展事業報告について

全体出品数 167作品

入場者数 784名(6日間) 5月25日(火)～5月30日

感染対策に配慮しながらの実施

(2) 学校の近況について

(指導主事)

各校の児童生徒の様子

修学旅行の実施状況

林間学校予定

(3) 当面する行事予定について

(指導主事) 資料2について説明 7月から10月までの予定

8月10～16日の7日間、学校閉校日とする。

7. その他

(1) 町民会館より

(町民会館事務長補佐) 当日配付資料の説明

「ゆめプラ通信」(7・8・9月のイベント)

「はやぶさカプセル展示」

(2) スポーツ課より

(スポーツ課長)

「武豊町屋内温水プールだより」

(3) 生涯学習課より

(歴史民俗資料館長)

吉町田湿地の一般公開(7・8月・9月)

7月18日から開始 小中学生ボランティア

(4) 学校教育課より

(学校教育課長)

ワクチン接種について

(教育部長) 最後に、教育委員さんからもお気づきの点があればご意見をお願いします。

(教育委員)

学校訪問でタブレットが多用されている様子を拝見しました。子どもがタブレットを活用して学習問題に対して、学習を身近なものとして捉えて調べ学習を行い、それを基に話し合い活動をして学びを深める姿に、「主体的・対話的で深い学び」が体現されていると感じました。調べたことに対する検証として、内容に対する質疑を行うことでさらに学びが深まると感じました。学校においてタブレットの活用が一般的になるにつれて、学校訪問の在り方、指導案の電子化も一考する時期かと思いました。SDGsについては、2030年までの目標として、教材開発が急務と捉えます。先生方だけでなく、行政・企業にも協力を仰ぎながら、対応が遅れることなく、子どもに必要な教材を提供してほしいです。学校経営案を拝見しました。時代にあった、よりよいものにしていくように、今後も見直しを積極的に行ってほしいです。通学路については現場の声を生かしながら必要な安全策を取り入れてほしいと思います。

(教育委員)

学校訪問で給食の残菜について話を聞きました。ある資料によると、食品ロスは世界で年間13億トン、日本だと612万トンだそうで、日本人一人当たり毎日お茶碗1杯分の食品を捨てている計算になるそうです。食品ロスの問題は、この生ごみを運ぶ車や燃やすための燃料の問題、その排気ガスの問題も含まれます。また、食品に含まれる水など、仮想水を視点に考えると、その食べ物を生産するために必要な水の確保の問題もでてきます。例えば、ハンバーガー1つを作るのに約3,000リットルの水が使われたり、肉牛の餌となるとうもろこしを育てるのにもっと水が必要になったりすると言われています。子どもには、食品ロスの問題一つに対して、様々な視点や問題が絡んでいることを、タブレットを活用して、調べたり、学んだりしながら、学習を広げてほしいと思います。

不登校の理由が複雑化する中で、本当の理由が何であるのかをよく考えて対応する必要があるかと思います。学ぶ意義を見失ったり、家庭の問題が絡んでいたりするなど、見えている問題の奥にある、本当の理由についてより考えを深めていければと思います。

(教育委員)

不登校の問題については、学習や自立の遅れの問題が絡んでくると思います。家庭や学校でできることをよく捉えて、インターネットの活用や動画配信など、少しでもできることから対応が図れればと思います。

食物アレルギー対応については、給食で食材として今まで使われていないようなものが使われているときは、学校側に少しでもわかるようにしてはどうかと考えます。担任も多忙な中でつかみきれないものがあり、子どもが食べたことのないものが使われることもあるかと思います。新1年生での説明会などを通して、保護者にも食物アレルギー対応についてよく理解してもらい、事故のない給食となればと思います。

(教育委員)

先日、名古屋市でオーガニック給食を始めるとの記事を読みました。有機栽培で育てられたものを活用した給食ということで、素晴らしい取組と感じました。今年1月農林水産省が、2050年までに有機栽培農地を日本全体の農地の25%まで増やす目標を発表しました。現在1%もない有機栽培農地をそこまで広げるということで、とても大変なことだと感じました。有機栽培は自然の生態系を崩さない、自然に優しい食品づくりということで、環境にも配慮した取組であると思います。武豊町も地元にあった取組について調査研究を進めてほしいと思います。1学期終盤を迎え、昨年度中学校を卒業した子どもの様子が気になります。上級学校への通学状況や不安や悩みを抱えた子どもがいないか、不登校だった子どもはどうかなど、町内各機関が連携して継続的に見守ってほしいと思います。

(教育部長) 以上をもちまして定例教育委員会を閉じます。

令和3年 月 日

署名

.....
.....
.....
.....
.....

作成者.....稲垣 勉

